皆様の課題をICTで解決する
DAiKO
http://www.daikodenshi.jp
FUJITSU パートナー
大興電子通信株式会社

CHIBA UNIVERSITY PRESS 敬愛大学 ユニバーシティプレス

大学生記者が編集

JR稲毛駅、2つの「初」
改札前に発車標
コンコースで「駅コン」も

JR稲毛駅の二つの「初」を紹介したい。

まず最初の「初」は、3月8日に、発車標を導入した。改札前の入り口では初めてのことだ。

駅長の西浦広仲さんに聞いたところ、「お客様の利便性向上のために導入した」とのこと。もともと設置されていた改札内にある時刻案内標は、駅の耐震に必要な二本の柱で重なり見づらく、「改札の外からは角度によっては、なかなか見えない」という。

「見やすいところに設置してほしい」というお客様の意見を社員が集約。支社と連携をとり、今回の設置に至った。

設置後、「分かりやすくなった」という社員の声、「サービスが向上して素晴らしいね」というお客様の声が多く届いているという。

もう一つの「初」は、「駅コン（駅でのコンサート）」である。高校、そして地元とのタイアップでの実施は初めてのことだ。「お客様が集まって来る拠点であるので、そのポテンシャルを活用して地域に貢献をしようと着任当初から思っていた」という。

昨年から「稲毛を明るく、楽しく、元気にするためのプロジェクト」を進めている「いいね稲毛！実行委員会」をはじめ、稲毛区役所といった地域の方々と連携。語呂合わせの11月17日（いいいなげ）にイベントを開催し、昨年は大盛況だった。

今年も開催予定であり、「地域の方が通勤だけでなく、駅を活用したイベントに来て頂いて、稲毛駅のファンになってもらいたい」と駅長は狙いを話す。

社員から公募して選んだ「進化」を指針に掲げている同駅。「サービスといったソフト、ハード面で働きやすい環境を作っていくのも大切だが、特に社員の教育が大切」と駅長。社員とのコミュニケーションを日頃から重視し、悩みや相談を受けたりもする。

さらに、現状に満足しないようにプラスアルファの仕事を自ら取り組む環境をつくり、社員の成長（進化）を促すという考えを持っているようだ。

「地域に生きる」という思いを念頭に置き取り組む稲毛駅の利便性の向上と進化が、どのような形になって行くかが楽しみである。

（小林佑介）

3月に導入された発車標＝稲毛駅改札

11月にコンサートが開催された（ＪＲ稲毛駅提供）

大学前の新公園
花壇管理に学生参加
住民と触れ合いの場に

敬愛大学の学生と地域住民で、敬愛大学近くにある千葉市の公園の運営に取り組み始めた。この公園は、堀割構造の都市計画道路・新港横戸町線の地上部にある。ウメやキンモクセイ、オリーブなど四季にそった多くの木々や植物が植えられ、散歩コースにはぴったりだ。

この道路は、臨海部と内陸部の連絡強化と医療関係の連携強化などを目的に千葉市が整備した。堀割構造のため、道路の建設で地域の触れ合いが希薄になってしまうことを考慮し、地域住民相互の触れ合いと憩いの場の提供を目的に公園が作られた。

そこで、地域の交流拡大に貢献しようと、「町なかオープンガーデン作戦」というテーマで、敬愛大学学友会（学生自治会）とボランティアセンターが公園内の花壇の運営に携わることになった。

管理を担当する花壇は公園中央の一角にあり、地域のコミュニティの場になるよう「コミュニティ花壇」と名付けられた。

「地域の方々に関与してもらうことでより地元に愛される公園になるといい」と語ってくれたのは、千葉市街路建設課特定街路整備室長の田邊康夫さん。「地元の方に喜んでもらえることが一番。同時に交通の混雑が問題になっているので改善も狙っている」と今後の目標も話してくれた。

敬愛大学学友会会長の茂木俊江さんは「花を植えることによって地域との関わりをより広げていきたいと思っています」と気合十分である。

花壇に植える花は学生が選ぶことを任され、5月中旬はマリーゴールドやチェリーセージを植えることが決まった。次回の作業は10月下旬を予定している。

秋には花の他にも種を植え、四季を通して楽しめる花壇にしていけるよう検討していくつもりだという。

定期的に行われている緑化検討会では、学生も参加し何十回と話し合った。すでに稲毛地区の方に協力の呼びかけの回覧も始まっている。今後は隣接大学の千葉大学と連携・協力し定期的に花壇の管理を行う予定。

「今まで千葉大学の学生さんとの交流を持てる機会がなかったので良い機会を与えてもらったと思う」と茂木さん。「植物の育成は学生だけの知識では難しい。大変な作業になるが、引き受けたからには花を枯らすわけにはいかない。花の知識や育て方など、一から勉強する必要がある。千葉大学や地域の方々と協力し、いろいろ吸収しながら学んでいきたい」とボランティアセンターのセンター長である椎葉智慧さんも意気込みを語ってくれた。

学内でもボランティアの呼びかけを行うことも考えている。今後学生たちが育てる花で公園が彩られるだろう。

（田嶋美恕）

学生が花壇を管理することになった公園。後方の建物は敬愛大学

津田沼に新献血ルーム
県内最大　若者・女性層ターゲット

若者や女性の献血離れに歯止めをかけようと、千葉県赤十字血液センターは、昨年10月5日、ＪＲ津田沼駅北口に県内最大の献血ルームをオープンした。

今までの献血ルームは雑居ビルの4階にあったが、フロア面積が狭く、休日は献血者が多く、休憩スペースが足りないこともあった。このため、献血者からの要望もあり、元テアトルシネパーク（映画館）だった現在の場所への移転に踏み切った。

新ルームの面積は777平方㍍。現在、津田沼ルームを除く県内5カ所（柏、船橋、松戸、運転免許センター、モノレール千葉駅）の献血ルームの平均面積の約2倍の広さだ。

内装デザインも一新。近年減少傾向にある若年層・女性をターゲットにヨーロッパのカフェをイメージ。外観からおしゃれな雰囲気が漂い、献血に馴染みのない若者も気軽に立ち寄れる。

コンセプトは「いつまでも街に、人に寄り添う場所。誰もが心地よいと思える場所」。文字通り、ゆったりとしていてリラックスしながら献血の待ち時間を過ごすことができる。

その他キッズスペースもあり、子ども連れでも安心して献血が受けられる。

献血者を呼び込むため、独自のイベントにも力を入れている。主に平日に実施しているが、献血者に先着でマッサージや占い、アイスクリームのプレゼントなどを実施。バレンタイン・ホワイトデーキャンペーンでは千葉工業大学の漫画研究会による似顔絵サービスを企画した。

ポイントカード制も導入した。献血の種類によってポイントが決められ、6ポイントごとに記念品と交換することができる。ポイントカードは県内の全献血ルームで使用できるという。

献血者減少の理由で献血には時間かかることも指摘されている。献血には全血献血と成分献血の二種類あり、人によって異なるが、全血献血は約10分～15分、成分献血では約40分～90分かかる。

そこで、献血中にベッドに設置されたプレーヤーでDVDやテレビ番組を視聴できるようにし、献血者を退屈させない配慮がなされている。

4月から新たにベッドも2台増の18台とし、より多くの人が献血を受けられるようになった。

こうした取り組みなどで、津田沼ルームは移転後の献血者数は月平均約2200人で、月間約600人増加している。ターゲットである女性の献血者数も4%増加した。

県赤十字血液センター津田沼出張所長の梅澤秀夫さんは「これからも平日を中心にイベントを展開し、献血者を増やしていきたい」と意欲的だ。

また、津田沼ルームの最大の特徴であり、全国的にも珍しい多目的スペースの活用も呼び掛ける。主に献血協力団体やボランティア団体等を対象にグループミーティングやサークル活動の用途で貸し出している。壁にはスクリーンが設置され、プレゼンテーションも行えるという。

手軽なできるボランティアとして、津田沼献血ルームに足を運んでみてはどうだろうか。

（山越千穂）

成分献血　成分採血装置を使用し、血小板や血漿（けっしょう）といった特定の成分だけを採血、体内で回復に時間のかかる赤血球は再び体内に戻す方法。成分献血は身体への負担も軽く、多くの血漿や血小板を献血できる。

JR津田沼駅北口にオープンした献血ルーム。内装はヨーロッパのカフェをイメージした＝3月6日

◇営業時間　全血献血（10時～13時、14時～17時半）・成分献血（10時～12時、14時～17時）
◇定休日　年末年始およびPARCO休館日
◇住所　船橋市前原西2の19の1　津田沼PARCOB館6階☎047（493）0322

BANK
確かな"きずな"を、未来へ。
70
おかげさまで
創立70周年。
京葉銀行
〒260-0015 千葉市中央区富士見1-11-11
TEL.(043)222-2121(代) http://www.keiyobank.co.jp
京葉銀行千葉みなとビル（平成27年2月竣工予定）

ちばぎん
あなたに、全力。
ちばぎん未来を育む宣言
頑張っている人のために、
一緒に頑張りたい。
地域やお客さまの未来のため、
支えになりたい、
ちばぎんです。
くわしくは、ちばぎんホームページへ。
ちばぎん　検索

ちば興銀
Just Fit
おひとりおひとりにお応えします
千葉興業銀行
http://www.chibakogyo-bank.co.jp/
ちば興銀　検索

FUJITSU
あなたを、まんなかに。
富士通がめざすICTは、そう、人がまんなか。
つくりたいのは、あなたのための明日です。
shaping tomorrow with you
夢をかたちに

経済学部　経済学科・経営学科
国際学部　国際学科・こども学科
受験生応援サイト OPEN!!　⇒ http://juken.u-keiai.ac.jp/
●オープンキャンパスや入試の最新情報が満載！
オープンキャンパス
～ 未来へ向けて、キャンパスライフを体験しよう！～
エントリーシート・小論文指導。万全の準備でＡＯ入試！
● 6/23（日）　● 7/20（土）
● 8/ 4（日）　● 8/10（土）
10:00 ～ 14:00　予約不要　入退場自由
● ミニ体験授業
● 学食無料体験
● 先生との個別相談 など
SPECIAL 企画！
★7/20（土）ジェフ千葉コラボイベント
★8/ 4（日）千葉ロッテマリーンズコラボイベント
詳しくは受験生応援サイトをご覧ください。
大学へのアクセス
JR総武線　稲毛駅　東口下車　徒歩 10 分 または バス約 5 分
（2番乗り場 山王町行・敬愛学園下車）
京成みどり台駅下車　徒歩 15 分
〒263-8588 千葉県千葉市稲毛区穴川 1-5-21　0120-878-070　http://www.u-keiai.ac.jp　入試広報センター
敬愛大学